



学校便り 2024 No. 6

令和6年5月14日

出水南小

校訓: やさしく かしく たくましく

発行: 校長 塩山 武陵

学校と家庭の教育力を高めるために

熊本市教育大綱の基本理念は「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」です。これをうけて、出水南小学校の学校教育目標は「主体的に考え、仲間と協働し行動できる子どもの育成」としています。20年、30年後の日本は今の小学生たちが支えていくことになります。子どもに自分と社会のウェルビーイング(よい状態)を創造していく人になってもらいたい、という願いは学校・家庭・地域の共通した目標ではないでしょうか。

さて、これらの目標を達成していくためには学校と家庭がチームを組んでいかななくてはなりません。そのために2つのお願いがあります。



1, 先生や学校の悪口は子どもの前で言わない。

子どもが平日起きている時間(約14時間くらい)のうち8時間は学校にいます。家庭で過ごすより学校で過ごす時間、特に担任と過ごす時間のほうが長いです。保護者の方が担任を信頼し、好意的にとらえていれば、子どもも安心して学校で過ごすことができます。先生を信頼していると授業が楽しくなり学力も伸びます。

学校でも子どもの家族の悪口は絶対に言いません。それはチームを組むものとしてのモラルだからです。

2, クレームではなく『相談』をしてください。

未熟である子どもが社会に出る第一歩として集団生活を送るのが学校です。子ども同士のトラブルや困りごとがあっても当然ですし、それを乗り越えていくことも学校の大きな存在意義でもあります。子どもは時に「ウソではないが、正確ではない」ことも話します。学校では、トラブルや困りごとには丁寧に対応し、解決策を見出します。ご家庭でも気になることがありましたら、遠慮なくご相談下さい。トラブルや困りごとがあっても、相手の子どもや学校どちらか一方だけの責任になることは多くありません。1の「悪口」と同様に学校がご家庭にクレームを言うことはありません。これも同じチームを組むものとしてのモラルです。

子どもたちの健やかな成長のため、学校と家庭の互いの教育力を高めていきましょう。どうかご理解とご協力をお願いします。